

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標①		地域の課題把握・解決のための仕組みづくり～様々な課題に対応した相談支援体制・連携の充実～										推進委員会の意見				
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
【1】地域の課題を把握する体制づくり	(1)身近に相談できる体制づくり	45	市社協	<p>【市】</p> <p>①高齢者や障がい者等に関する相談に包括的に対応できる相談体制の検討</p> <p>【社協】</p> <p>①社会福祉協議会の地区担当職員による活動支援</p> <p>・ふれあいいきいきサロン、見守り活動等のバックアップなどを行う</p> <p>・職員の訪問等を通じた地域住民が身近に相談できる体制づくりの推進</p>	<p>【参考】</p> <p>サロンや見守り活動等への支援活動回数</p>	実績値	334回					<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>○職員によるサロン新規開設、運営等の支援:334回</p> <p>○その他、職員による民児協定例会や福推協定例会への出席を通じ、事業説明や相談支援に向けてのアドバイスを随時行った。</p> <p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>○今後も引き続き、福推協及び民児協等の定例会、サロン等への訪問を通じて社協事業等の説明を行い、身近な相談機関としてのPRをしていく。</p>	3	<p>(露原)数値目標を設定して活動していただきたい</p> <p>(土井)来年度までコロナの影響は残ると思われ、それを踏まえた上での対応が必要ではないか</p> <p>(川嶋)コロナ禍での対応をどうするかも検討していく必要があるのでは。</p>	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
	(2)民生委員・児童委員の活動支援	46	市社協	<p>【市】</p> <p>①民生委員児童委員活動費補助事業</p> <p>・福祉活動を支えるため、情報提供や補助等、積極的な支援を行う。</p> <p>②連絡調整会議及び各種研修会の開催</p> <p>【社協】</p> <p>①地区定例会等への参加(事業の周知、説明)・定例会等への参加を通じて、事業の周知や説明を行う。</p> <p>②相談対応のバックアップ</p> <p>・困難ケースをはじめとした相談対応のバックアップを行う。</p>	<p>連絡調整会議開催回数</p>	<p>目標値</p> <p>年12回</p> <p>実績値</p> <p>年12回</p> <p>達成度(%)</p> <p>100%</p>	年12回	年12回	年12回	年12回	年12回	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>○毎月1回「民生委員児童委員協議会会長会」を開催し、33地区の会長、主任児童委員部会長、社会福祉協議会、市関係部局での意見交換や情報提供を行った。また、地区活動費や個人活動費等の支援を行った。</p> <p>○「民生委員・児童委員新任研修」期日:令和元年12月16日(月)出席者:173名</p> <p>「民生委員・児童委員会長研修」期日:令和2年2月19日(水)出席者:30名</p> <p>「民生委員・児童委員全体研修」新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>○令和元年12月の一斉改選に伴い、定数628名に対し605名を委嘱。佐世保市の委嘱率(96.3%)は全国(95.2%)、中核市(95.6%)、長崎県(94.7%)の平均を上回った。</p> <p>○民生委員・児童委員に関する市民の理解を深めるため、市ホームページや広報させほ5月号に民生委員・児童委員活動の役割の掲載及び市役所庁舎に「5月12日は民生委員・児童委員の日」の懸垂幕を掲示するなどして、周知、広報に努めた。</p> <p>○貸付事業について、江迎地区民児協からの要請により、2/10に定例会での事業説明を行った。</p> <p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>○会長会や研修の開催、更に活動費等の補助を行うことで、民生委員・児童委員の業務が円滑に行われ、地域住民の福祉ニーズに対応でき、健康で安心して暮らせる町の実現に貢献した。</p> <p>→今後も引き続き情報提供や補助等、積極的な支援を行い、良好な連絡提携と協力関係を保持することで、福祉の推進を図る。</p> <p>○3年毎に民生委員の一斉改選があるが、全国的にもなり手不足が問題化しており、市に推薦する各町内会関係者が改選の度に苦慮している状況である。町内会においては、候補者の職場の定年延長による就業拡大や地域コミュニティの希薄化で人選が難しく、現在約20名の欠員が生じている。</p> <p>→地域福祉のより一層の推進のため、今後も引き続き民生委員・児童委員の活動を支援していき、欠員地区に対しては説明及び依頼を重ね、随時補充を行う。</p> <p>○民生委員・児童委員のPR活動を行い、地域住民をはじめ、関係機関・団体等に対して、委員の存在やその活動について、一層の理解促進を図り、委員活動の充実につながることを目指した。</p> <p>→民生委員・児童委員制度の理解を深めるため、引き続き市ホームページや広報誌等で周知を図る。</p> <p>○貸付事業の内容や、民生委員の関わり等について直接説明をしたことで、民生委員の理解を深めることができたと思う。</p> <p>→民児協会会長会等により研修会への開催依頼を行い、民生委員に制度の周知を図ることで、対象者への支援に繋げる。</p>	3	<p>(岩佐)研修の中止については、情勢に鑑み調整、対応必要なことと考えます。代替する委員へのフォローアップについては、今後工夫が必要と思えます</p>	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい 特に欠員地区の補充に努めていただきたい	3
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											89%					

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標①		地域の課題把握・解決のための仕組みづくり～様々な課題に対応した相談支援体制・連携の充実～										推進委員会の意見				
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
【2】課題を解決するための体制づくりと活動の促進	(1)地域福祉を推進する組織の基盤強化と活動支援	48	市 社協	<p>【市】</p> <p>①地区福祉推進協議会と地区自治協議会の再編・合流</p> <p>・再編・合流を推進するとともに、社会福祉協議会と共同して地域福祉を進めていく</p> <p>②地域づくりを推進しやすい活動拠点への移行(地区公民館のコミュニティ施設化等)</p> <p>・地域コミュニティの活動拠点として地区公民館のコミュニティ施設化を目指す</p> <p>【社協】</p> <p>①地区担当職員の配置による実践活動の連携・支援</p> <p>・再編・合流をはじめ、地域を基盤とした地域福祉活動の支援に取組む</p> <p>②福祉関係部会の代表による連絡会の設置・会議の開催、事務局としての活動推進</p> <p>・会長連絡会の開催(年3回)</p> <p>・福推協会長連絡会先進地視察研修会(年1回)</p> <p>・再編・合流後も、自治協福祉関係部会等の代表による連絡会を開催していく</p> <p>③福祉関係部会の構成員を対象とした研修会の開催</p> <p>・構成員を対象とした研修会をブロック別に開催(年1回6カ所)していく</p>	<p>【参考】</p> <p>地区自治協議会との再編・合流(実施地区数)</p>	実績値	1地区					<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>【市】</p> <p>①令和元年度第2回地区自治協議会全体会議において、地区自治協議会と福祉推進協議会の再編・合流について説明を行った。その後、合流の機運が高い、吉井地区、鹿町地区、日宇地区と合流に向けた協議を行い、鹿町地区では、令和2年4月から合流した。</p> <p>②地区公民館のコミュニティセンター化に向けて、教育委員会と民生生活部で協議を定期的に進めてきた。</p> <p>【社協】</p> <p>①再編合流については、市と同じ内容。それ以外では、地区担当職員が中心となり各地区福祉推進への活動支援を行い、ふれあい食事サービスやいきいきサロン等をはじめとする各種事業の推進を行った。</p> <p>②福祉協組織の活性化に向けた取り組みとして、福推協会長連絡会及び先進地視察研修会を開催。</p> <p>◆会長連絡会開催:【1回目】令和元年6月24日 内容:第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画について他 【2回目】令和元年11月27日～28日 内容:先進地視察研修会と兼ねて会長連絡会を開催 【3回目】新型コロナウイルス感染症予防のため中止</p> <p>◆先進地視察研修会開催:令和元年11月27日～28日 場所:朝倉市社協・佐賀市社協 参加者:31名</p> <p>③各地区福祉協の構成員を対象としたブロック別研修会を6ブロック中5ブロックで開催:令和元年7月23日・25日・30日、8月1日午前・午後。テーマ:「認知症高齢者の社会問題」、「これからの支え合い活動~生活支援体制整備事業~」、「子どもの貧困問題」参加者:合計405名 ※令和2年3月に開催を予定していた、北部1ブロックについては、新型コロナウイルス感染症予防のため中止</p>	3	<p>(川内野)再編合流に伴い、自治協事務局機能の拡充が必要。公民館のコミセン化により進めていただきたい</p> <p>(露原)数値目標を設定して活動していただきたい</p>	<p>今後の取組み方針のとおり実施していただきたい</p>	3
				<p>目標値</p> <p>年1回(6カ所)</p>	<p>年1回(6カ所)</p>	<p>年1回(6カ所)</p>	<p>年1回(6カ所)</p>	<p>年1回(6カ所)</p>	<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>○地域にとって福祉活動がやりやすく、継続できる形を目指し、地区自治協議会、福祉推進協議会、さらには生活支援体制整備事業の協議体ともリンクした体制づくりを進めていく。</p> <p>○引き続き、協議を行い、令和3年4月移行に向けて協議を重ねていく。</p> <p>○福祉部門代表による連絡会の設置と併せて地域福祉の推進に向けた会議や研修会等を引き続き実施していく。</p>							
				<p>実績値</p> <p>年1回(5カ所)</p>						<p>目標・指標 事業達成度(達成度平均)</p> <p>83%</p>						

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標①		地域の課題把握・解決のための仕組みづくり～様々な課題に対応した相談支援体制・連携の充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【2】課題を解決するための体制づくりと活動の促進	(2)多機関協働による地域の相談支援体制の構築	49	市協	<p>〔市・社協〕</p> <p>①地域福祉・生活支援ネットワークの構築 ・地域の課題や地域の実践活動に関する情報を共有し、課題解決に向けた取組みを検討するための協議の場(地域福祉・生活支援ネットワーク会議)を設ける ・生活支援体制整備事業第1層協議体と共同で実施する ※令和2年度からの推進に向け、試行的に実施する</p> <p>②「要保護児童対策地域協議会(佐世保市子ども安心ネットワーク協議会)」において、関係機関との連携を図り、子どもと子育て家庭を包括的にサポートする</p> <p>③「佐世保市在宅医療・介護連携サポートセンター」において、地域の医療・介護の関係団体の連携を推進。在宅医療・介護サービスと福祉の連携強化を図り、誰もがニーズに合った支援を受けられる地域づくりを推進する</p>	<p>地域福祉・生活支援ネットワークの推進 (会議実施)</p>	<p>年次計画</p> <p>検討</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>①令和2年度からの「地域福祉・生活支援ネットワーク会議」推進に向け、生活支援体制整備事業第1層協議体と連携した会議を開催した。</p> <p>〔第1回会議〕 開催日:令和元年7月9日(月) 内 容:第3期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画の説明、生活支援体制整備事業の説明、課題の共有など 出席者:18人</p> <p>〔第2回会議〕 開催日:令和元年10月11日(金) 内 容:生活支援サポーターの進捗状況報告、市庁内連携推進会議の報告、地域福祉・地域福祉活動計画の事業評価報告、支え合い活動者がつながるための情報共有など 出席者:13人</p> <p>〔第3回会議〕 開催日:令和2年1月22日(水) 内 容:第1層、第2層生活支援コーディネーター活動報告、高齢者支え合い支援連携表の協議、ダブルケアの状況把握と関係機関の連携についてなど 出席者:15人</p> <p>○会議参加メンバー 民生委員・児童委員、地区福祉推進協議会、地区自治協議会、老人クラブ連合会、健康運動支援隊、生活支援サポーター、シルバー人材センター、生活支援サポーター、社会福祉士、介護支援専門員、医療ソーシャルワーカー、包括支援センター、市関係各課、第1層生活支援コーディネーター、社会福祉協議会</p> <p>②「要保護児童対策地域協議会(佐世保市子ども安心ネットワーク協議会)」を年6回開催しました。また個別ケース会議を適宜開催し、対象児童の支援について検討した。</p>	4	<p>(渡辺)実践活動の検討をお願いします</p> <p>(岩佐)十分な活動の実績が示され、評価4に値すると思います。②の要保護児童対策地域協議会について、個別ケース会議の開催実績や効果の評価を知りたいです</p> <p>(川嶋)地域によって課題も違ってくると思われ。地域での解決と複合的な解決などネットワーク協働での解決を行う上で、どのような課題が出ているのか見れるものがあるとわかりやすい。</p> <p>(大島)相談体制の構築に関して、それが適切になされた過去、あるいは他自治体の問題解決のモデルケースを検討する機会があってもよいように思います。</p>	<p>今後の取組み方針のとおり実施していただきたい</p>	4
				<p>実績値</p> <p>推進(3回)</p>	<p>【実施結果の分析と今後の取組み方法】</p> <p>〔市〕 ①多様な主体の参画による地域福祉・生活支援ネットワーク(第1層協議体)を開催し、地域課題を共有した。今後は、複合的な地域課題について、同ネットワーク協働による解決を目指す。</p> <p>②要保護児童対策地域協議会を活用し、関係機関や関係団体等と連携することで、保護を要する子どもやその保護者に対する適切な支援につながった。引き続き、協議会の開催を通じて、関係機関との連携を図り、子どもと子育て家庭を包括的にサポートしていく。</p> <p>〔社協〕 ○本格実施に向けた準備段階として、第1層生活支援コーディネーターとの連携による関係機関・団体の情報共有、交換の場を設置することができた。 →各機関・団体の現状や把握している課題等をもとにした意見交換だけでなく、解決に向けた実践活動の検討を進める。 ○地域の困りごとの把握、またそれらを市域的に集約する仕組みが不十分である。 →ネットワーク会議の周知による相談窓口との連携強化、座談会等による課題把握など、地域の困りごとを把握するための取組みを強化する。</p>										

基本目標①		地域の課題把握・解決のための仕組みづくり～様々な課題に対応した相談支援体制・連携の充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【2】課題を解決するための体制づくりと活動の促進	(3)課題解決に向けて“つながる”仕組みづくり	50	市社協	<p>【市】</p> <p>①地域包括庁内推進会議の開催 ・福祉のみならず、多分野の庁内部署がつながる連携会議の開催(年2回)</p> <p>【社協】</p> <p>①「地域カフェ」の設置推進 ・地域カフェの設置に向けた情報収集及び検討を行う。 ②座談会等の開催による話し合いの場づくり推進 ・専門職等による地域課題を共有した座談会の開催。</p>	<p>地域包括庁内推進会議の開催</p> <p>目標値</p>	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>交通関連生活弱者対策部会、避難行動要支援者関係部会、生きがい就労・プラチナ部会の3つの部会に分かれ、関係部局による課題の共有・対策の検討を実施。 ○全体会議開催実績 〔第1回〕期日：平成31年4月24日 内容：地域包括推進会議の役割、ロードマップ、協議事項の共有 〔第2回〕期日：令和元年7月23日 内容：今後の協議項目、評価基準等の共有 〔第3回〕期日：令和2年1月23日 内容：各部局からの協議事項提案・情報共有、部会の進捗状況報告 ○交通関連生活弱者対策部会実績 〔第1回〕期日：令和元年9月9日 内容：地域包括庁内推進会議の目的確認、当部会で検討する地域課題についての確認、地域課題に対する各課の現在の取組と問題点の情報共有 〔第2回〕期日：令和元年9月17日 内容：部会で協議する手法や方向性の合意形成 〔第3回〕期日：令和元年12月17日 内容：先進地の報告、エリアマネジメント及び部会として取り組む課題の整理 ○避難行動要支援者関係部会実績 〔第1回〕期日：令和元年10月10日 内容：関係各課の取組みの情報共有 〔第2回〕期日：令和元年12月25日 内容：個別計画を進めるため、避難行動要支援者名簿登録者(同意者)を増やすことを重点的に行っていく ○生きがい就労・プラチナ部会実績 〔第1回〕期日：令和元年10月9日 内容：地域包括庁内推進会議の目的及び役割の再確認、当部会への地域課題の確認、地域課題に対する各課の現在の取組みと問題点、部会で検討していきたい点の情報共有 〔第2回〕期日：令和元年11月12日 内容：前回の振り返り、コミュニティビジネスの情報共有、全国の事例の把握、エリア毎のボランティア及び活躍の場の整理、当部会の方向性の整理 〔第3回〕期日：令和元年12月26日 内容：これまでの検討内容等の確認、課題解決に向けた提案</p>	3	<p>(渡辺)“つながる”仕組みに関しての意識向上・連携の在り方についてしっかり協議していただきたい</p> <p>(川嶋)①交通関連生活弱者に対して実際にされている地域(例えば黒髪地区)はありますが、うまく運用できていない感があります。住民のニーズも考慮しないと解決には難しいのでは？見直しも必要では。 ②同意者を増やすことで現行どのくらいなのか数字を出して頂くとわかりやすい</p>	<p>今後の取組み方針のとおり実施していただきたい</p>	3
					<p>達成度(%)</p>	100%									
					<p>【参考】 地域カフェの設置・運営</p> <p>実績値</p>	検討									
<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>・交通関連生活弱者対策部会今後の取組み方針 課題整理表を基に、部会として議論する内容を整理しつつ、各課横断で取り組むことや既存事業の活用、応用してできる内容等がないか検討する ・避難行動要支援者関係部会今後の取組み方針 同意者が増やすことが重要であることから、ケアマネジャー等への依頼等、未回答者への対策を進めていく ・生きがい就労・プラチナ部会今後の取組み方針 1 高齢者が活用できる情報の一元化を行う 2 ボランティアセンターを活用し、「1」で一元化した情報とリンクさせることで、ボランティアに関する情報を包括的に情報発信する</p>															
<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>専門職等を対象とした座談会を東部ブロックで開催：令和2年2月9日(日)10:00～12:00 場所：広田地区公民館 参加者：38名 ※中部ブロック(R2.2.29)、北部ブロック(R2.3.7)については、コロナウイルス感染症予防のため中止。</p> <p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>①令和元年度は、地域カフェの設置に向けた情報収集に努めた。令和2年度は先進地への視察研修を計画しており、実施に向けてより具体化していく。 ②昨年度に中止になった地区も含め今年度で開催することで、地域課題の解決に向けた専門職等との連携をより強化していく。</p>															
<p>目標・指標 事業達成度(達成度平均)</p>											100%				

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標①		地域の課題把握・解決のための仕組みづくり～様々な課題に対応した相談支援体制・連携の充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【3】情報発信力の強化	(1)福祉サービス利用者の選択に役立つ情報提供	51	市協	【市・社協】 ①福祉制度やボランティア活動、地域活動に関する情報をホームページに掲載 ・新たな福祉サービス等の情報提供を随時行う ②最新の情報を提供するための情報更新 ・フォーマルサービスとインフォーマルサービスの定期的な更新と最新情報の提供 ③閲覧者から問合せができる仕組みづくり ・閲覧者からの問い合わせ画面の設定を行う	くらしに役立つ福祉情報ガイドのアクセス件数 目標値 10700件 実績値 10896件 達成度 100%	10700件	10800件	10900件	11000件	11100件	【具体的な取組みと実績】 ①サロン等に参加した際に周知活動を行った。社協だより第109号(3月号)にPR記事を掲載。関係機関、情報掲載団体等へのPRチラシの配布。 ②フォーマルサービス(掲載実績:195件)高齢者分野、障がい者(児)分野、子ども分野、経済的支援の相談窓口、介護保険制度、総合支援サービス、生活保護、貸付制度等の紹介について掲載(令和元年6月に情報更新調査依頼。10月更新)インフォーマルサービス(掲載実績:144件)NPO、市民活動団体等の情報(団体の種類、団体名、活動目的、活動内容等)を掲載(平成31年3月に情報更新調査依頼。令和元年5月更新) ③インターネット上で問い合わせページを設定し、その中で閲覧者が問い合わせをしやすい環境を整備した。 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ○広報紙やHPをはじめ様々な機会を通じてのPRを行ってきたが、より一層の閲覧者の増加を目指し、市民へのPRを強化していく。 目標・指標 事業達成度(達成度平均) 100%	3	(川嶋)PRの強化方法を検討していたきたい。	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
	(2)コミュニティソーシャルワークに対応した情報提供	51	社協	【社協】 ①ホームページや広報紙等による情報提供 ・広報紙等を通じての情報提供を行う ②市民が必要とする情報ニーズの把握 ③新たな社会資源の情報収集	【参考】 ホームページや広報紙等による情報提供他 実績値 3回	3回						【具体的な取組みと実績】 ○広報紙(させぼ社協だより・YOMO-DE・くれよん)については、社協事業や地域活動、ボランティア活動の内容を掲載し、市民へ情報提供を行った。 【実績結果の分析と今後の取組み方針】 ○市民が求める福祉情報の掲載を心掛けてきたが、今後は対象者層を絞るなど、対象に即した内容や紙面の工夫を行うことで魅力ある広報紙づくりにしていく。	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい
基本目標 総合評価												B		B	

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【1】住民による自主的な地域活動の推進	(1)ふれあいいきいきサロンの推進	54	社協	<p>【社協】</p> <p>①レクリエーションの実施、遊具の貸出、初期活動に対する財政的支援等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員がサロンを訪問し、レクリエーションの支援や情報提供を行う 新規サロンの増設や、既存サロンの活性化につなげるためレクリエーション用遊具を補充し、貸し出す 新規サロンへの財政的支援(2年間) <p>②サロンリーダー及びボランティアの支援・育成(いきいきサロンリーダー研修会等の開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン研修会の開催 北部、中部、東部、黒島、宇久、計5カ所で実施する <p>③いきいきサロン活動の周知、事業説明等による開設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 福推協会長連絡会、各地区総会等での事業説明、事例提供によるサロン開設の推進 地域包括支援センターや第2層生活支援コーディネーターとの連携によるサロン開設の推進 <p>④サロン活動の支援につながる関係機関、企業の情報収集、連絡調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアグループ、福祉事業所、医療機関、企業等によるプログラム支援の情報提供、連絡調整を行う <p>⑤地域共生サロンの開設の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存サロンや社会福祉法人等への事業説明、協力依頼、活動周知等に取組む 	<p>目標値</p> <p>220カ所</p>	240カ所	260カ所	280カ所	300カ所	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>①職員によるサロン新規開設、運営等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規開設:27カ所 職員訪問支援: 337回 初期活動(2年間)への財政的支援: 77カ所(888,000円) <p>②いきいきサロン研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 5カ所(東部、中部、北部、黒島、宇久)開催 参加者:計117人 内容:笑いヨガ、スローエアロビ、シナプソロジーの各講師を招聘して開催 ※サロン代表者等が希望するテーマの会場に参加した。 <p>③サロン活動の周知、事業説明等</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいきサロン体験会の開催:30カ所 地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携したサロン周知 →地域支え合い推進会議での事業説明、活動紹介など <p>④関係機関、企業等との連絡調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所、警察、消費生活センター、ボランティアグループ等の外部講師を調整 <p>⑤地域共生サロンの開設</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象としたいきいきサロンには子供や障がい者など、誰もが参加可能な運営形態による実施をはたらきかけ、開設を推進した。 新規開設:5カ所(江上、柚木、世知原、小佐々、江迎) いきいきサロンと障害者施設との連携による交流活動の支援 →今後共生サロンとしての継続をはたらきかける。 <p>⑥その他</p> <ul style="list-style-type: none"> サロン対抗によるレクリエーション交流大会の開催 予選会:3カ所(東部、中部、北部) 83チーム、332人 本選:相浦総合グラウンド 24チーム、96人 <p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>○これまでの情報交換会を「サロン研修会」として開催し、サロンリーダーの意識向上、スキルアップに取組んだ。また、希望するテーマ(会場)への参加を可能としたことで、その後の実践にもつなげることができた。</p> <p>○各会場とも目標としていた参加者を集めることができた。</p> <p>→同様の方法で実施する。なお、他機関が実施する、介護予防グループ等を対象とした事業とも連携を図り、可能なものは協働で取組む。</p> <p>○百歳体操など体操等介護予防活動に取組むグループが引き続き増加している。一方、内容のマンネリ化等による活動の停滞に不安を抱えているグループがある。</p> <p>→地域包括支援センターや第2層コーディネーターとの協力による活動支援を継続する。また、担当職員が訪問してのレクリエーションの指導や外部講師の調整等によりマンネリ化を防ぐ。</p> <p>○サロン対抗レクリエーション交流大会は、大会出場を目指すことによる、モチベーションの向上、及びサロン参加者同士のつながりの強化となっている。</p> <p>→さらなる活動普及に向け、継続して実施する。</p>	4	<p>(川内野)コロナ禍におけるサロンの現状把握につとめ、必要な支援をしていただきたい</p> <p>(岩佐)活発な活動により、目標以上の実績を残されていること素晴らしいと思います。生活支援コーディネーターの設置により地域に根差した支援が進んでいるのでは。今後の活躍に期待しています</p> <p>(川嶋)いきいきサロンをHPで確認すると社協のホームページでは探しやすいが、佐世保市のHPでは探しにくく検索に入力しないと出てこない。佐世保市のHPと社協のHPリンクしてたら使いやすい(生活困窮者の様に)</p> <p>(大島)地域住民がサロン活動に求めるニーズを、調査・確認する機会があってもよいように思えます。</p>	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	4	
					<p>いきいきサロン設置カ所数</p> <p>実績値</p> <p>247カ所</p>										
					<p>達成度(%)</p> <p>100%</p>										
					<p>目標値</p> <p>年1回(5カ所)</p>	年1回(5カ所)	年1回(5カ所)	年1回(5カ所)	年1回(5カ所)						
					<p>いきいきサロン研修会等開催回数(開催カ所数)</p> <p>実績値</p> <p>年1回(5カ所)</p>										
					<p>達成度(%)</p> <p>100%</p>										
					<p>目標値</p> <p>20カ所</p>	25カ所	30カ所	35カ所	40カ所						
					<p>地域共生サロン設置カ所数</p> <p>実績値</p> <p>20カ所</p>										
					<p>達成度(%)</p> <p>100%</p>										
					目標・指標 事業達成度(達成度平均)										

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見				
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
【1】住民による自主的な地域活動の推進	(2)食を通じた地域活動の支援	55	市社協	<p>〔市・社協〕</p> <p>①食事サービスグループの活動実績に応じた助成金の交付 ・ボランティアグループに対する食材費等の財政的な支援</p> <p>②ボランティアを対象とした料理教室の実施 ・食事の提供が充実するよう、ボランティアグループを対象とした活動支援の一環として料理教室を市内5カ所で開催する</p> <p>③子ども食堂など、食を通じた交流活動への支援 ・市民や企業への広報、協力企業との連絡調整などを行い食事の提供を通じた交流活動を推進する(1カ所)</p>	<p>料理教室等研修会開催回数</p> <p>目標値 年1回(5カ所)</p> <p>実績値 年1回(5カ所)</p> <p>達成度(%) 100%</p>						<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>①食事サービス助成金実績 13,995食/3,638,700円 ※コロナの影響で予定していた会食・配食型(2～3月)が休止になったところが多く、例年より食数が減少した。助成金(年2回以上の活動に助成の条件)については柔軟に対応した。</p> <p>②料理教室 講師:管理栄養士 伊藤 美幸 氏 市内5カ所で実施 令和元年11月18日(月) 場所:清水地区公民館 参加者:15名 令和元年11月19日(火) 場所:早岐地区公民館 参加者:15名 令和元年11月20日(水) 場所:相浦地区公民館 参加者:8名 令和元年11月21日(木) 場所:崎辺地区公民館 参加者:12名 令和元年11月25日(月) 場所:中部地区公民館 参加者:11名 ※5カ所で61名の参加者あり。</p> <p>③こども食堂自体で積極的に呼びかけを実践され、各団体とつながりを作りつつある。その中で社協が支援に入り、こども食堂の実践場所として、企業(JA柚木支所)の建物提供につながった。(R2年度実施予定)</p>	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3	
					<p>協力企業新規開拓数</p> <p>目標値 1カ所</p> <p>実績値 1カ所</p> <p>達成度(%) 100%</p>						<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>②レシピのマンネリ化を防ぐために新たなレシピ提供の必要はあるが、コロナ問題もあり、従来の料理教室のやり方の見直し、もしくは、他の方法でのレシピ提供の方法についても検討する必要がある</p> <p>②配食型(弁当)のレシピを提供し、グループを分け、分担して調理したことで品数を多く作ることができ、より多くのレシピの提供につながった</p> <p>③こども食堂への支援に向けて、協力企業や団体等の情報収集に努めながら、子ども食堂と協力企業、団体とのコーディネートをしていく</p>					
	(3)コミュニティビジネスに関する研究	55	市社協	<p>〔市・社協〕</p> <p>①福祉分野における先行事例の研究</p> <p>②新たな活動の創出に向けた検討 ・地域住民が主体となり地域に根差した事業活動(コミュニティビジネス)について検討していく。</p>	<p>【参考】コミュニティビジネスの研究</p> <p>— 検討</p> <p>実績値 検討</p>						<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>・他都市で取り組まれているコミュニティビジネスに関する情報収集を行い、今後の本市におけるコミュニティビジネスの取り組みに向けた検討材料とした。</p> <p>・小規模多機能自治推進ネットワーク会議に参加し、他都市の事例の情報収集を行った。</p>	3	<p>(川内野)必要と思われる地域に事例を紹介するなどし、将来の事業実現につなげていただきたい</p> <p>(露原)佐世保ならではのものを探していただきたい</p> <p>(渡辺)コミュニティビジネスがよく理解できませんでしたが、引き続き他県・他市の情報収集をおこないながら検討していただきたいです</p>	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3	
<p>目標・指標 事業達成度(達成度平均) 100%</p>																

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見				
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
						130件	140件	150件	160件	170件						
【2】ボランティア・市民活動の推進	(1)ボランティアセンター運営	56	社協	【社協】 ①ボランティアに関する相談対応 ・ボランティアに関する相談・紹介・情報の収集・提供を行う。 ②ボランティア活動希望者とニーズのマッチング ・ボランティアコーディネートに関するシステムを構築・運用し、業務の効率化につなげる。 ③ホームページや広報紙等によるボランティア情報の発信 ④ボランティア広報紙の発行 ・ボランティア情報紙「くれよん」の定期発行(2カ月に1回偶数月)	ボランティア活動依頼件数	目標値	130件	140件	150件	160件	170件	【具体的な取組みと実績】 活動希望 活動依頼 問い合わせ 合計 201件 130件 1,261件 1,592件 ○ボランティア情報紙「くれよん」の定期発行 ・A3サイズ 両面 4,250部、2ヶ月(偶数月)に1回 年6回発行 ※くれよんの設置場所が登録ボランティアの協力により新たに2か所増えた。 ※くれよんでは、ボランティア登録団体の特集を組み、活動の詳細を紹介しているが、くれよんを見ての団体への問い合わせも増えるなどの反響があった。	3	(渡辺)コロナ事情によりなかなかボランティアへの登録が厳しいと思いますが、人様のために何かできることを考えておられる方もいらっしゃると思いますので、前向きな取り組みをお願いします (川嶋)①ボランティアマッチング率は実績値の部分は○/130件で94%と数値があるとわかりやすい。 ②【具体的な取組み実績】で活動希望と活動依頼で数が違う理由は？問い合わせの件数は社協に対してか、団体への件数なのかわかりづらいのでは？ ③市のHPではボランティア情報がないため工夫が必要では。	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい 特に、ボランティア登録者の確保に向けて取り組んでいたきたい	3
						実績値	130件									
					達成度(%)	100%										
					ボランティア活動希望登録者数	目標値	355件	380件	405件	430件	455件	【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①依頼件数は、例年依頼のある施設・団体等に加えて、地域活動の活性化のためのふれあいいきいきサロンへの演芸派遣など本所と共同した依頼件数の増加もあり、VCの存在の浸透にもつながった。 ②コーディネートシステムの導入により、希望者の年齢層や人数、マッチング候補の選定がスムーズにできるようになった。 ③ホームページにボランティア情報を随時更新するよう努め、結果、ボランティア募集を公開したことで、新たなボランティア活動者の確保につながった。 ○新規登録希望者は一定数確保しているが、活動者の高齢化や家庭環境の変化(家族の介護、出産・子育て等)による登録抹消もあるため、ボランティア活動内容の充実を図り、さまざまな活動情報を提供し、登録継続ができるよう充実をはかる。 ④広報紙等を見ての問い合わせも増えており、今後もホームページや広報紙くれよんを活用し、ボランティア募集を積極的に図るとともに、登録者以外への情報提供の手段としていく。 ○2月以降、コロナの影響でイベント中止が続き、依頼が減少傾向にある。イベント見合わせはしばらく続くため、研修等でボランティア活動者のモチベーション維持を図っていく。				
						実績値	303名									
					ボランティアマッチング率	目標値	98%	98%	98%	98%	98%	①依頼件数は、例年依頼のある施設・団体等に加えて、地域活動の活性化のためのふれあいいきいきサロンへの演芸派遣など本所と共同した依頼件数の増加もあり、VCの存在の浸透にもつながった。 ②コーディネートシステムの導入により、希望者の年齢層や人数、マッチング候補の選定がスムーズにできるようになった。 ③ホームページにボランティア情報を随時更新するよう努め、結果、ボランティア募集を公開したことで、新たなボランティア活動者の確保につながった。 ○新規登録希望者は一定数確保しているが、活動者の高齢化や家庭環境の変化(家族の介護、出産・子育て等)による登録抹消もあるため、ボランティア活動内容の充実を図り、さまざまな活動情報を提供し、登録継続ができるよう充実をはかる。 ④広報紙等を見ての問い合わせも増えており、今後もホームページや広報紙くれよんを活用し、ボランティア募集を積極的に図るとともに、登録者以外への情報提供の手段としていく。 ○2月以降、コロナの影響でイベント中止が続き、依頼が減少傾向にある。イベント見合わせはしばらく続くため、研修等でボランティア活動者のモチベーション維持を図っていく。				
実績値	94%															
達成度(%)	96%						目標・指標 事業達成度(達成度平均) 94%									

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【2】ボランティア・市民活動の推進	(2)ボランティア活動支援	57	市 社協	<p>〔市〕</p> <p>①ボランティアセンターと共催で、市民公益活動を行っている団体・個人に対する研修の開催 ・登録ボランティアグループ、NPO、プラザ登録団体等を対象とした研修会の開催</p> <p>②「市民協働交流月間」等の開催 ・ボランティアやNPO活動等のPRを図るための交流イベントの開催</p> <p>〔社協〕</p> <p>①各種ボランティア講座及び研修会の開催 ・ボランティア入門講座(年2回)、ボランティア実践講座(年1回)、ボランティア・NPO研修等の開催</p> <p>②登録ボランティアグループへの研修費補助 ・研修会の経費や県内外で開催される研修会参加費の一部を補助する(上限:70,000円)</p> <p>③ボランティア出前講座の実施 ・依頼に応じた出前講座への対応</p>	ボランティア入門講座修了者数(累計)	目標値	40人 (40人)	40人 (80人)	40人 (120人)	40人 (160人)	40人 (200人)	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>〔市〕</p> <p>①V・NPO研修(共催) 開催実績:令和2年1月18日(火) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:15名 テーマ:新聞社が教える「魅力的な紙面」の作り方</p> <p>②「させぼコミュニティフェス2019」として、市民協働についてのイベントやパネル展を開催した。イベントについては、祝日の開催であったため、多くの人に団体の活動を知ってもらえる機会を作ることができた。</p> <p>〔社協〕</p> <p>①ボランティア入門講座 開催実績:令和元年6月22日(土) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:24名 令和元年10月5日(土) 場所:大野地区公民館 参加者:14名</p> <p>①ボランティア実践講座 ※年4回開催し、延べ117名が受講した。 開催実績 令和元年7月18日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:28名 テーマ:いざというときに役立つ救急処置</p> <p>令和元年9月19日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:29名 テーマ:認知症を知ることから始めよう</p> <p>令和元年12月12日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:29名 テーマ:障がいについての理解(知的障がい、発達障害)</p> <p>令和2年2月6日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:31名 テーマ:ボランティア活動者のためのコミュニケーション</p> <p>②ボランティア研修費補助 申請団体:11団体 研修費補助金額:548,000円</p> <p>③出前講座 社協による地域福祉出前講座 ・江迎地区民児協研修会(1回) ・大野地区自治協研修会(2回) ・県立大学ボランティア講座(1回)</p>	3	<p>(川嶋)ボランティア入門講座、実践講座を受講した方がどのくらい登録したかなどわかると実績として評価しやすいのでは。</p> <p>今後の取組み方針のとおり実施していただきたい 引き続きボランティア活動の促進につながる研修・講座の実施に取り組んでいただきたい</p>	3
					ボランティア実践講座開催回数	目標値	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回	<p>令和元年12月12日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:29名 テーマ:障がいについての理解(知的障がい、発達障害)</p> <p>令和2年2月6日(木) 場所:させぼ市民活動交流プラザ 参加者:31名 テーマ:ボランティア活動者のためのコミュニケーション</p>			
					達成度(%)	95%									
					達成度(%)	100%									
					ボランティア・NPO研修開催回数	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>①ボランティア実践講座については、活動者へのフォローアップ的な要素での研修であり、毎回、定員近くの参加がある。今後も活動者の関心の高い、かつ今後の活動に役立つ内容を研修アンケートを参考にしながら企画していく。</p> <p>○ボランティア入門講座修了者は目標値に近い人数があり、ボランティアに関心のある人材の確保につながっている。</p> <p>○V・NPO研修としては、市と協議を進め、ニーズの高かった「広報に関する研修会」を実施したが、参加者が前年度より減少(28名→15名)した。 →研修日程など含めて改善点を探っていく。</p> <p>②毎年申請する団体もあり、団体メンバーのスキルアップにつながっている。</p> <p>③出前講座については、コロナ予防の徹底をお願いした上で、積極的に対応し、ボランティアの心構え等、ボランティア意識の向上を図っていく。</p>			
					実績値	年1回									
					達成度(%)	100%									
					ボランティア出前講座開催回数	目標値	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回				
					実績値	年4回									
					達成度(%)	100%									
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											99%				

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見				
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
【2】ボランティア・市民活動の推進	(3)災害ボランティアネットワークの推進	58	社協	【社協】 ①佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会の運営(連絡会議の開催) ・ネットワーク連絡協議会会議の開催(年3回) ②市防災訓練への参加及び災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施 ・災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施(年1回:9月)	連絡会議開催回数 目標値 年3回 年3回 年3回 年3回 年3回						【具体的な取組みと実績】 ①関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的として、17の機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催した。 ・第1回連絡協議会 開催日:令和元年6月26日(水) 場所:社会福祉協議会 3階 参加団体:16団体 内 容 ア 代表並びに副代表の選出について イ 平成30年度事業報告について ウ 第3期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画について エ 佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員の視察研修について オ 佐世保市総合防災訓練について カ 災害ボランティアネットワーク連絡協議会の連絡網について ・第2回連絡協議会 開催日:令和元年10月31日(木)～11月1日(金) ※災害ボランティアネットワーク連絡協議会視察研修同日開催 ・第3回連絡協議会 開催日:令和2年2月21日(金) 場所:社会福祉協議会 3階 参加団体:15団体 内 容: ア 災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員の変更について イ 災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員視察研修の報告について ウ 災害発生時における初動体制について エ 令和2年度災害ボランティアネットワーク連絡協議会事業計画(案)について	3	(渡辺)大雨被害、台風被害が各地で多発しています。いつ佐世保も大きな被害が起こるかわかりません。今後のためにも訓練等の検討をお願いします	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3	
					達成度(%) 100%											②佐世保市総合防災訓練・災害ボランティアセンター設置運営訓練 ※佐世保市総合防災訓練時において実施 ・開催日:令和元年9月1日(日) 開催場所:陸上自衛隊相浦駐屯地 ・参加者:53名(災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員6名、災害ボランティア実践講座受講者8名、個人登録ボランティア等28名、社協11名) ・内 容: 災害ボランティアセンターの開設、ボランティアの受付、マッチング、送り出し等の実践演習
					目標値 年1回 年2回 年2回 年2回 年2回											
					実績値 年1回						目標・指標 事業達成度(達成度平均) 100%					
					達成度(%) 100%											
					実績値 年1回											

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【2】ボランティア・市民活動の推進	(4)災害ボランティアに関する意識啓発	58	社協	【社協】 ①災害ボランティア研修会等の開催 ・委員視察研修(10月)、市民向け研修(11月)、職員向け研修(2月)の開催。 ②地区自治協議会と連携した災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施 ③ホームページ及び広報紙による情報発信	災害ボランティアに関する研修会等開催回数 目標値 年1回 年1回 年1回 年1回 年1回						【具体的な取組みと実績】 ①災害ボランティアに関する研修会を通して、職員等が災害ボランティアセンタースタッフとしての資質の向上を図るとともに、市民やボランティア活動者に対する普及啓発を行った。 ・委員視察研修 期 日:令和元年10月31日(木)～11月1日(金) 場 所:添田町社会福祉協議会(31日)日田市社会福祉協議会(1日) 内 容:災害時におけるニーズ調査の実態と課題並びに災害ボランティアセンター運営にかかる現状と課題について(31日) 災害時における初動の取り組みと社協間の連携について 他(1日) ・市民向け研修 開催日:令和元年11月22日(金) 開催場所:相浦地区公民館 多目的ホール 参加者:155名(住民147名、スタッフ8名) 内 容:講 演:テーマ『災害時におけるボランティア活動』 ～地域防災の大切さと、防災と言わない防災を目指して～ 講 師:呉市社会福祉協議会地域福祉課係長 近藤 吉輝 氏 ・職員向け研修 職員の初動時におけるマニュアルづくり(佐世保市社協災害対応マニュアル(案)策定中) ②地区自治協議会と連携し、災害ボランティアセンター設置運営訓練までには至っていないが、避難訓練への参加協力をおこなった。(6地区) ○その他 令和元年8月大雨豪雨に伴う被災者支援ということで、災害ボランティアを派遣した。 (実績) ニーズ件数 1件(江迎地区)、ボランティア数 9名	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
					達成度 (%) 100%										
					災害ボランティアセンター設置運営訓練実施地区数(地区自治協議会との連携) 目標値 — 1地区 2地区 2地区 1地区 実績値 — 達成度 (%) —										
【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①委員視察研修では、災害ボランティアセンターの運営に係る現状と課題、ニーズ調査の実態、並びに訓練の必要性などについて学ぶことができた。また、内容についても、連絡協議会の報告の中で、情報の共有を図ることができた。 →災害ボランティアセンター運営に係る職員研修が必要。 ○災害ボランティア講演会では、災害時におけるボランティア活動の必要性並びに地域防災について理解することができた。 →参加者増となるよう、広報周知など検討が必要。 ○災害発生時における社協職員の初動についての確認が必要。 →災害時における初動マニュアルの整備をおこなっていく。 ②自治協単位で開催される避難訓練等において、自治協、防災危機管理局と連携し、災害ボランティアセンター設置に係る理解を深める必要がある。 →自治協単位で実施される避難訓練時での情報提供や訓練の実施に向けた検討。 ③近年、災害が多く発生している中で、社協ホームページなどを活用し、より多くの情報の発信をしていく必要がある。 →全社協、県社協ホームページとのリンク。											目標・指標 事業達成度(達成度平均) 100%				

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【3】共に生きる地域づくりの推進	(1)ふくし教育の実践	59	社協	<p>【社協】</p> <p>①地域の関係団体や構成員を対象としたふくし教育の実践</p> <p>②地域住民を対象としたふくし教育の実践 ・市内15地区(宮、江上、広田、日宇、潮見、白南風、小佐世保、山手、宇久、大久保、赤崎、相浦、柚木、小佐々、鹿町)での住民を対象としたプログラムの実施。</p> <p>③学校や企業と連携したふくし教育の実践 ・ふくし教育実践校(既存実践校16校+新規2校)への総合的支援を行う。</p> <p>④市民を対象としたふくし教育推進フォーラムの開催 ・市民への理解と啓発を図ることを目的としたフォーラムの開催(年1回)</p> <p>⑤ふくし教育推進委員会の開催 ・委員会を開催(年2回)し、学校向けプログラム事例集等の検討を行う。</p>	<p>目標値</p> <p>18校 20校 22校 24校 26校</p>						<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>①②地区福祉推進協議会を中心に地域住民に対して、ふくし教育の実践を行った。 ・共通プログラムは「社会的包摂を考える学習会」を14地区(宮、江上、広田、日宇、潮見、白南風、山手、小佐世保、大久保、赤崎、相浦、柚木、鹿町、宇久)で実施し、308名が参加。 ・選択プログラムは地区の実情や課題に応じたプログラムを実施した。 【選択プログラム実績】参加者計 130名 日宇:地域の高齢者と小学生の交流(R1.12.3/30名) 山手:高齢社会に向けての支え合い講座(R1.12.3/23名) 小佐世保:地域共生社会を考える学習会(R2.2.20/19名) 赤崎:地域福祉講演会(R2.1.28/38名) 相浦:ふくし出前講座(R2.2.27/20名) ※その他の地区は、新型コロナウイルス感染予防のため、次年度に延期。</p> <p>③小・中学生を対象としたプログラムの提案や福祉団体等の講師調整を行うなど、小・中学校と連携し「ともに生きる力」を育むふくし教育を推進した。 実践校:19校(小学校17校、中学校2校) 内容:車いす・高齢者体験、当事者との交流、まち探など</p> <p>④令和2年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止。</p> <p>⑤ふくし教育地区実践の進捗や今後の進め方への助言など必要な支援を行うことを目的として、16団体で構成するふくし教育推進委員会を開催し、「ともに生きる力」を育むふくし教育実践事例集を作成。 ・第1回委員会 開催日:R1.6.19 内容:H30年度事業報告・R1年度事業計画、ふくし教育プログラム実践事例集について ・第2回委員会 開催日:R1.11.26 内容:ふくし教育プログラム実践事例集について(ワールドカフェ)</p>	4	<p>(川内野)今年度は学校も授業時間の確保に追われている。短時間のプログラムを用意し取り組んでもらいやすくしては</p> <p>(岩佐)学校に向けたふくし教育については、早期の意識定着を図る上で大きな役割を果たしていると考えます。保護者や地域員への取り組みについても啓発の効果は高いと思うので、積極的に進めていただきたいです</p> <p>(大島)福祉職の教育現場に臨んでいて、大学生の「ふくし教育」に関する関心は高いと感じる。彼らの関心をくみ取る取り組みに期待したい。</p>	<p>今後の取組み方針のとおり実施していただきたい</p>	4
					<p>実績値</p> <p>19校</p>										
					<p>達成度(%)</p> <p>100%</p>										
					<p>目標値</p> <p>— 1社 1社 1社 1社</p>										
				<p>ふくし教育実践企業数</p>	<p>実績値</p> <p>—</p>					<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>①②福祉推進協議会を中心とした2年目の実践に伴い、少しずつ地域住民に対してもふくし教育が浸透しているが、まだまだ定着には至っていない。 次年度以降も福祉推進協議会を中心に、実施内容の提案を行うなど、主体的に実施ができるよう働きかけを行っていく。</p> <p>③学校におけるふくし教育の実践は、年間を通して授業数を確保していただくなど、昨年度以上に充実した取組みとなっている。 年間を通して行った学校と短期間で行った学校も同じふくし教育実践校としてカウントしているため、ふくし教育実践校の捉え方について検討を行っていく。また、相対的に中学校での実践が少ないため、校長会等を通してアプローチを掛けていく。</p> <p>④新型コロナウイルス感染予防のため中止となり、次年度以降も感染症の拡大が見込まれることから、開催にあたっては、感染症対策を施したうえで、小規模での開催など開催方法について検討を行っていく。</p> <p>⑤ふくし教育推進委員会では、実践の進捗状況や今後の進め方などの助言をいただき、「ともに生きる力」を育むふくし教育実践事例集の作成に至った。 今後は本事例集をもとに小・中学校での実践に繋げていく。また次年度については企業に対してふくし教育の実践につなげていくために企業向けのリーフレット作成を検討していくこととしている。</p>					
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											100%				

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【3】共に生きる地域づくりの推進	(2)地域福祉への意識啓発	60	社協	【社協】 ①地域福祉講演会の実施 ・地域住民をはじめ、保健・医療・福祉関係者等への地域福祉への啓発を目的とした講演会を開催(年1回) ②地域福祉に関する出前講座の実施 ・地域住民等からの依頼に応じて、地域福祉の普及啓発を目的に実施(随時)する。	地域福祉講演会開催回数 出前講座開催回数	目標値 年1回 年1回 年1回 年1回 年1回					【具体的な取組みと実績】 ①「つながりは笑顔から ごぼう先生と学ぶコミュニティづくり」として健康体操を指導している築瀬寛氏を迎え、地域におけるサロン活動の事例や取組の工夫など実践を交えての講演を行った。 集客数:356名 <アンケート集計>(回答数301名) テーマ設定について—とても適切だった(72%)・適切だった(20%) 講演内容について—とても分かりやすかった(69%)・分かりやすかった(27%) ②佐世保市からの出前講座依頼無し 社協による地域福祉出前講座の実績(全6回) ・江迎地区民児協研修会(1回) ・大野地区自治協研修会(2回) ・県立大学ボランティア講座(1回) ・ボランティア入門講座(2回)	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
	(3)福祉活動プラザの運営	60	市	【市】 ①福祉活動プラザの管理運営 ②福祉系団体及びその活動に対する支援 ③福祉的支援が必要な人を支える人材育成 ④市民を対象とした福祉に関する意識醸成、啓発活動	会議室等利用人数	目標値 12200人 12400人 12600人 12800人 13000人					【具体的な取組みと実績】 ・障がい者社会参加講座 開催回数 3回、参加者数 25人 ・高齢者、障がい者疑似体験教室 開催回数 20回、参加者数 796人 ・障がい者サポーター 開催回数 4回、参加者数 101人 ・認知症サポーター養成講座 開催回数 86回、参加者数 1,627人 ・障がい者地区別研修会 開催場所三川内地区公民館、参加者数 30人 ・障がい者啓発事業(全盲の音楽家前川裕美コンサート) 開催場所アルカスSASEBO、参加者数350人 ・プラザだよりの発行 発行回数 6回、入居団体PR用チラシの作成 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 開設から6年が経過。入居団体がサンプラザの十日市に参加しPR活動を行うなど、参加者数は前年より増加。会議室等利用人数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で目標は達成しなかったが、福祉活動の拠点施設として認知度は向上している。	3	(露原)コロナに配慮した活動をしていただきたい (川嶋)目標値の12,200人は施設利用者数なのか?【具体的な取組みと実績】に記載されている数は2,929名と少なく、残りの8,814名が不明。会議室利用なら数に入るのか?福祉系団体及びその活動に対する支援の利用者数なのか。 (大島)コロナ禍に対応するため、今後は福祉活動プラザの運営においても、研修や講演会におけるリモート機器の活用が、必要かもしれない。	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
目標・指標 事業達成度(達成度平均)												100%			
目標・指標 事業達成度(達成度平均)												96%			
基本目標 総合評価												B			B

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標⑥		自立した生活を支える福祉サービスの展開～様々なニーズに応じた福祉サービスの充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	主な取組み	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【1】生活支援・自立支援等の取組み	(1)佐世保市福祉資金貸付事業	63	社協	【社協】 ①相談対応と生活困窮の状態に応じた資金貸付 ②生活困窮者自立相談支援事業と連携した支援 ③民生委員・児童委員並びに関係機関との連携 ④制度の周知(広報紙、ホームページ)	【参考】 貸付件数	261 件					【具体的な取組み実績】 ①相談対応時に、生活困窮者自立相談支援事業の担当者も同席。貸付だけでなく、他の制度を含めて相談者の状況に応じた制度活用や助言等の支援を行った(191件)。 ②貸付の実施においては、民生委員・児童委員と連絡を取って相談者の情報を共有している。2/10には江迎地区民児協定例会で事業説明を行った。生活保護世帯の貸付では、生活福祉課との連絡により実施。 ③制度については、ホームページや広報誌に掲載し、周知を図っている。	3	(川内野)コロナ禍により相談も増えて いるかと思われる。充実した相談体制 を維持していただきたい	今後の取組み方針 のとおり実施してい たきたい	3
	(2)長崎県生活福祉資金貸付事業	63	社協	【社協】 ①相談対応と生活困窮の状態に応じた資金貸付 ②生活困窮者自立相談支援事業と連携した支援 ③民生委員・児童委員並びに関係機関との連携 ④制度の周知(広報紙、ホームページ)	【参考】 貸付件数	93 件					【具体的な取組み実績】 ①相談対応時に、生活困窮者自立相談支援事業の担当者も同席。貸付だけでなく、他の制度を含めて相談者の状況に応じた制度活用や助言等の支援を行った(191件)。 ②貸付の実施においては、民生委員・児童委員と連絡を取って相談者の情報を共有し、完済までの期間までの間、対象世帯の見守りや相談対応をしていただいている。2/10には江迎地区民児協定例会で事業説明を行った。生活保護世帯の貸付では、生活福祉課との連絡により実施している。 ③制度については、ホームページや広報誌に掲載し、周知を図っている。また、教育支援資金については、県社協と協力し、中学校と高校に文書にて周知をしている。	3	(川内野)コロナ禍により相談も増えて いるかと思われる。充実した相談体制 を維持していただきたい	今後の取組み方針 のとおり実施してい たきたい	3
					【参考】 貸付金額	5,606 千円					【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①有効求人倍率は、年度末は低下しているが、年間を通じて求職者数が求人数を上回っている。このことは、貸付件数が前年度290件に対して低下している一因になっているのではないかと考えられる。 →生活困窮者自立相談支援事業との連携を継続し、対象世帯の状況把握をし、自立に向けた貸付制度の活用を行う。 ②貸付制度の周知には広報誌やホームページの活用は適当である。民生委員や関係機関から対象世帯への貸付制度の紹介がされ、貸付に繋がることもある。 →民生委員や関係機関、生活困窮者自立相談支援事業との連携により、必要な世帯に貸付を行う。広報誌等での広報活動も継続し、制度の周知を図る。				
					【参考】 貸付金額	75,414 千円					【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①昨年度の貸付件数は90件で大きな差はない。本事業は、修学や転居等、目的別の貸付となっているため、経済状況の変動と貸付件数が必ずしも連動するとは言えない。 →生活困窮者自立相談支援事業との連携を継続し、対象世帯の状況把握をし、世帯の抱える課題に応じて貸付を実施をする。 ②貸付制度の周知には広報誌やホームページの活用は適当である。民生委員や関係機関から対象世帯への貸付制度の紹介がされ、貸付に繋がることもある。 →民生委員や関係機関、生活困窮者自立相談支援事業との連携により、必要な世帯に貸付を行う。広報誌等での広報活動も継続し、制度の周知を図る。				

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標⑥		自立した生活を支える福祉サービスの展開～様々なニーズに応じた福祉サービスの充実～										推進委員会の意見											
施策	事業名	ページ	実施主体	主な取組み	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価								
【1】生活支援・自立支援等の取組み	(3)生活困窮者自立相談支援事業の推進	64	市協	<p>〔市〕</p> <p>①生活困窮者自立相談支援事業の推進</p> <p>②自立相談支援、就労準備支援及び家計改善支援の一体的な取組み</p> <p>〔社協〕</p> <p>①関係機関、地域住民への周知(事業説明会、広報紙、ホームページ等)</p> <p>②出張相談会の実施 ・東部(宮、三川内、針尾、江上)北部(吉井、世知原、小佐々、江迎、鹿町)計9地区で実施する。</p> <p>③個別ケースを通じた、地域づくりの推進</p>	新規相談受付件数	目標値	670件	680件	690件	700件	710件	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>・昨年度同様に年間広報スケジュールを立て、地域住民に対して効果的な周知活動を行ったことにより、月相談受付件数のバラつきが抑えられ、支援の効率化にも繋がっている。</p> <p>・支援調整会議は2.67回/月(昨年度1.75回/月)開催し、年間223件のケース検討を行った。相談受付から支援調整会議を経てプランが策定されるまで概ね1か月～2か月の間に諮ることができており、早期支援に繋げることができている。ケース管理を徹底し支援調整会議における評価の機会を増やして、プランを適正に実施できるよう努めており、目まぐるしく状況が変化する利用者の状況に即応した支援を行っている。</p> <p>・自立相談支援事業のみで完結するのではなく、他機関・他制度の連携や活用、また地域づくり意識しゴミの清掃や見守りネットワークの構築等、フォーマル・インフォーマルな制度、サービス等を調整しながら支援を行うことができています。</p> <p>・遠方にお住まいの方が本事業の利用がしやすいよう、東部(宮、三川内、針尾、江上)、北部(吉井、世知原、小佐々、江迎、鹿町)計9地区にて出張困りごと相談会を開設し、合計10人からの相談に対して支援を行った。また、今年度は更なる周知・浸透を目指し、全世帯への一斉周知(班回覧)に取り組んだ。</p>	4	(川内野)コロナ禍により相談も増えているかと思われる。充実した相談体制を維持していただきたい	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	4							
						実績値	714件																
						達成度(%)	100%																
					支援プラン作成件数	目標値	100件	110件	120件	130件	140件												
						実績値	223件																
						達成度(%)	100%																
					相談支援自立件数	目標値	60件	66件	73件	80件	90件												
						実績値	188件																
						達成度(%)	100%																
					目標・指標 事業達成度(達成度平均)												100%						

基本目標⑥		自立した生活を支える福祉サービスの展開～様々なニーズに応じた福祉サービスの充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	主な取組み	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【1】生活支援・自立支援等の取組み	(4)日常生活自立支援事業	65	社協	【社協】 ①生活支援員スキルアップ研修会の実施 ②生活支援員フォローアップ研修会の実施 ③制度の周知(広報紙、ホームページ、パンフレット)	スキルアップ研修会開催回数 目標値 年3回 年3回 年3回 年3回 年3回 実績値 3回 達成度(%) 100%						【具体的な取組みと実績】 ①生活支援員スキルアップ研修会 令和元年8月1日(木) 参加者:6名 令和元年9月20日(金) 参加者:7名 令和2年1月30日(木) 参加者:7名 ②生活支援員フォローアップ研修会 令和元年12月1日(日) 参加者:8名 ③周知活動 地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・小規模多機能型ホーム・相談支援事業所・医療機関地域連携室へのパンフレット配布 やすらぎ荘公開講座(4/17)での事業説明 ④生活支援員養成講座 令和2年3月25日(水) 参加者:2名	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい 特に利用者数の増加に対応する支援体制の充実に取り組んでもらいたい	3
	(5)させば成年後見センター運営事業	66	社協	【社協】 ①後見支援員スキルアップ研修会の実施 ②成年後見センターの周知(広報紙、ホームページ、パンフレット)	後見支援員数 目標値 3人 4人 5人 6人 7人 実績値 2人 達成度(%) 67%						【具体的な取組みと実績】 ①後見支援員スキルアップ研修会 令和元年8月1日(木) 参加者:2名 令和元年9月20日(金) 参加者:2名 令和2年1月30日(木) 参加者:2名 ②後見支援員フォローアップ研修会 令和元年12月1日(日) 参加者:2名	3	(岩佐)後見支援員については、専門職団体との協働も視野に補充やスキルアップの取り組みをお願いしたいです	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい 引き続き必要とする支援が行き届くよう制度の周知に取り組んでいただきたい	3
					スキルアップ研修会開催回数 目標値 年3回 年3回 年3回 年3回 年3回 実績値 4回 達成度(%) 100%						【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①後見支援員は、日常生活自立支援事業の生活支援員の経験を積み、成年後見制度についての知識を持った方を充てたい。適任と思われる生活支援員は、現状以上の活動が難しく、後見支援員の増員に至らなかった。 →生活支援員の増員を図り、生活支援員から後見支援員に移行できるよう取り組む。 ②スキルアップ研修は、日常生活自立支援事業と一体的に実施。実務に繋がる内容での研修を行っている。 →今後も、実務や後見支援員の意欲向上に繋がる内容の研修を行う。				
												目標・指標 事業達成度(達成度平均) 98%			
											目標・指標 事業達成度(達成度平均) 84%				

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標⑥		自立した生活を支える福祉サービスの展開～様々なニーズに応じた福祉サービスの充実～					令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針					推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	主な取組み	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	自己評価	評価委員の意見	意見	評価	
【2】緊急時や災害時に対応できる体制の充実	(1)緊急時・救急時に備える取組み	67	市	【市】 ①緊急時連絡カードの配布及び使用方法等の周知 ②緊急医療情報キットの配布及び使用方法等の周知 ③地域見守りネットワーク協定の締結による企業との連携	緊急時連絡カード配布数 目標値 1600枚 1800枚 2000枚 2000枚 2000枚 実績値 887枚 達成度(%) 55% 救急医療情報キット配布数 目標値 2000個 2500個 3000個 3000個 3000個 実績値 2,552個 達成度(%) 100% 地域見守りネットワーク協定締結数 目標値 14社 15社 15社 16社 16社 実績値 14社 達成度(%) 100%						【具体的な取組みと実績】 ①必要に応じて、市役所本庁舎、中央保健福祉センター案内窓口、関係課窓口、各支所等へ設置・補充。市ホームページにて周知広報を実施。 ②必要に応じて、市役所本庁舎、中央保健福祉センター案内窓口、関係課窓口、各支所等へ設置・補充。市ホームページにて周知広報を実施。 ③平成29年度までに14社締結。 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①緊急時連絡カードの配布数推移 H27年度:1,590枚 H28年度:1,610枚 H29年度:1,560枚 H30年度:803枚 配布枚数はH30年度より大きく減少。年度更新ではないため、一定数所有しているものと想定されるが、広報紙等による周知徹底や、新たな配布場所の検討が必要。 ②緊急医療情報キットの配布数推移 H27年度:1,480枚 H28年度:1,740枚 H29年度:1,795枚 H30年度:2,000枚 市民へ定着してきているが、記入情報の更新については本人の自己責任において行っていたくものとしているため、更新なされていない可能性が考えられる。 広報紙等による呼びかけを引き続き行うとともに、様式をリニューアルして更新の機会をつくる。 ③市ホームページ等での周知を継続し、締結する事業者の更なる増加を図る。 目標・指標 事業達成度(達成度平均) 85%	3	なし	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい	3
	(2)災害時避難行動要支援者支援事業の推進	68	市	【市】 ①避難行動要支援者名簿の作成 ②避難支援者関係者への情報提供に関する名簿対象者の同意(意思)確認と同意者数の増加 ③避難行動要支援者名簿(同意者分)の避難支援関係者への配付	名簿対象者の内情報提供に関する同意率 目標値 49% 59% 69% 79% 89% 実績値 47% 達成度(%) 96%						【具体的な取組み実績】 ①名簿の作成 効果的な見守り活動が実施されるよう、新規に同意を得られた方を追加した名簿の整理を行った。 ②同意者数の増加 令和1年7月8日付で対象者5,361人(未回答者、新規対象者含む)に対し同意書発送。本人の意思確認を行い同意者数増加を図った。(名簿対象者10,906人に対し同意者5,128人) ③名簿の関係者への配布 警察・消防・民生委員児童委員及び同意をいただいている各町内会への名簿の配布を行った。町内会については、名簿受領が50%程度なので、地区自治協議会の会合開催時をとりえ受領要請を行い、受領地区を増加させる必要がある。 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 平時からの見守りに有効な避難行動要支援者名簿は、近年の豪雨災害の大規模化に伴い大変重要なものとなっている。郵送により同意書の回答を受けているものの個人の状況によるためか、同意率の大幅な増加は見られない。 名簿対象者の中には支援が必要でない方も含まれている可能性があるため、関係者協議のうえ対象者を絞り重点的に個別の手段により同意者を増加させる。 目標・指標 事業達成度(達成度平均) 96%	3	(川内野)台風10号時の検証をし、課題の把握に努めていただきたい (渡辺)今後の前向きな取り組みに期待します (川嶋)各包括支援センターや生活コーディネーターの協力も考えてみてはどうでしょうか。	災害時避難行動要支援者に対する見守りが実効性のある仕組みとなるよう、関係機関と連携し、事業を推進していただきたい	3

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和元年度取組み評価一覧表

基本目標⑥		自立した生活を支える福祉サービスの展開～様々なニーズに応じた福祉サービスの充実～										推進委員会の意見			
施策	事業名	ページ	実施主体	主な取組み	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5	令和元年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針	自己評価	評価委員の意見	意見	評価
【2】緊急時や災害時に対応できる体制の充実	(3)福祉避難所	68	市	【市】 ①災害時における福祉避難所開設と要配慮者の受け入れ対応 ②福祉避難所に関する市民及び関係者への適切な周知 ③要配慮者のうち、乳幼児その他に対応するための施設の検討	福祉避難所開設訓練・研修会実施回数 目標値	年3回	年3回	年4回	年4回	年4回	【具体的な取組み実績】 ①福祉避難所開設訓練 ●大野地区防災訓練 開催日:令和1年5月19日(日) 場所:大野地区自治協議会管内地域一帯(主会場:大野地区公民館) 主催:大野地区自治協議会、佐世保市 内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施 ●北地区防災訓練 開催日:令和1年6月9日(日) 場所:北地区自治協議会管内地域一帯(主会場:北地区公民館) 主催:北地区自治協議会、佐世保市 内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施 ●中里皆瀬地区防災訓練 開催日:令和1年9月29日(日) 場所:中里皆瀬地区自治協議会管内地域一帯(主会場:中里皆瀬地区公民館) 主催:中里皆瀬地区自治協議会、佐世保市 内容:福祉避難所への避難者受け入れ訓練を実施 令和1年8月27日の大雨により、福祉避難所を開設。3施設に4名の受け入れ対応を行った。 ②福祉避難所の市民への周知 市ホームページへ福祉避難所の協定締結施設一覧を掲載し周知を図った。 ③乳幼児その他への対応 具体的な進展はなかったが、今後も関係機関との検討を行っていく。 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 各地区の防災訓練に参加し、福祉避難所開設訓練を実施した。災害発生時における担当者及び保健師の手順確認と、認識の一元化ができた。また、訓練参加者への福祉避難所の周知ができた。 引き続き各地区の防災訓練に参加し、福祉避難所施設との運営手順の確認と地域住民に対する周知を進めて行く。	3	(川内野)台風10号時の検証をし、課題の把握に努めていただきたい (渡辺)乳幼児から高齢者と幅広い範囲へのご配慮をお願いします	新型コロナウイルス感染症感染防止を図りながら、対象者への適切な対応が行えるよう引き続き取り組みを進めていただきたい	3
					実績値	年3回									
					達成度(%)	100%									
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											100%				
【3】社会福祉法人による公益的な取組みの充実	(1)地域公益事業への地域の福祉ニーズの反映	69	市	【市】 ①推進委員会での意見聴取による福祉ニーズの把握(地域協議会機能)	実績値	—					【具体的な取組み実績】 ①充実残額を活用しての地域公益事業を取り組む法人はなかった。 【実施結果の分析と今後の取組み方針】 ①各社会福祉法人と連携し、地域福祉のニーズを把握出来るように努め、地域福祉サービスの充実を図る。	-			
					基本目標 総合評価										